

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	バル・キッズ・クラブ Next		
○保護者評価実施期間	令和7年1月6日		令和7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数)
○従業者評価実施期間	令和7年1月6日		令和7年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 2 月 7 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人一人の特性に合わせた療育の提供が出来る 近い年齢のグループ療育が提供できる。	支援プログラムは固定化せず、成長や一人一人の発達に合わせて個別への課題、日替わりの活動を提供している。 ビジョントレーニング、SSTに力を入れて楽しみながら学ぶように活動を考えて支援している。 長期休暇には、お出かけイベント等も行い様々な経験が出来るように支援している。	活動会議を行い、常に新しい取り組みが行えるように話し合っている。継続していきたい。 様々な研修や勉強会等に参加し、職員の知識を増やしよりよい支援が出来るようにしていく。
2	保護者との連絡を密に取り、情報交換が出来る。	ソフトエアを使用し、連絡帳機能にて療育の様子等を写真を用いながら保護者に伝えている。 また、個別での面談も定期的に行い、ささいなことでもコミュニケーションをとるように意識している。 インスタグラム等のSNSも活用し、療育報告や、活動報告を行っている。	引き続き、コミュニケーションを図り事などの相談のサポートがしやすいような環境を整えていき、情報共有をしていく。
3	職員の支援の質向上のために、e ランニングを導入し自発的に研修を受けられるような環境を提供している。	月に1度必要な研修を受講しており、隙間時間を利用して自ら研修を受講できる環境を整えている。 支援の質向上の勉強会を定期的に開催し、知識を増やす機会を作っている。	引き続き、社内研修の充実を図りつつ、外部への研修も積極的に受講できる環境を整えていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の関わりの機会が少ないこと	年に1度マルシェイベントや参観等は開催しているが、保護者同士が交流する機会をつくる事が出来なかった。 療育参観で、お子様の様子を見て頂く機会があったがペアレント・トレーニング等の研修の機会を設けることができなかった。	反省点を踏まえてイベントは交流の場であると周知し、保護者同士も交流できるようなイベントを考えていきたい。 また、ペアレント・トレーニングに対しても今後の課題となる。
2	放課後児童クラブや地域の他の子どもと交流する機会が少ないこと	利用されているお子さんは、地域の小学校に通っている日常生活の中で地域のお子さんと交流する機会を設けていない。	他事業所や地域のイベントに積極的に参加を検討する。
3	協議会や子ども部会、地域の子ども・子育て会議等への参加が出来なかったこと	今年度は参加することが出来なかった。 情報収集もうまくできなかった。	今後、協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等への参加を検討する。 情報収集の仕方も考えていく必要がある。